

めたせこいあ

「小さな学校で大きな夢を」

校長 渡部 敏郎

去る3月2日、第58回卒業証書授与式を挙行いたしました。昨年に引き続きコロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小しての実施となりましたが、なんとか今年は在校生の出席も叶い、37名の3年生を送ることができました。卒業生は、「アントレプレナーシップ教育」「吉賀高校支援室」「よしか塾 Next」「サクラマス交流センター」などの現体制がすべて整った時期に入学し、吉賀高校魅力化事業の発展期と重なる3年間を過ごすことができました。特に「アントレプレナーシップ教育」や「地域クラブ活動」を通して吉賀高校の魅力を町内外に強く広く発信してくれたと思っています。卒業生のみなさん全員が、この小さな学校で芽生えた大きな夢を実現できるよう、このよしかの郷より願っています。



卒業式 ~新たな旅立ちへ~



3月2日(火)に卒業式が行われ、あいにくの天気にもかかわらず、生徒たちは落ち着いて式に臨むことが出来ました。卒業生は保護者の皆様や在校生に見守られて、高校での3年間の経験や思い出を胸に会場へ入りました。式では3年生の担任が生徒一人一人を呼名し、1組の青江彩乃さんを筆頭に2組の松田章弘さんまで37名が校長先生より卒業証書を受け取りました。在校生代表送辞では、岡本ひなたさん(生徒会副会長)が様々なことを教えてもらった感謝の気持ちと

先輩の未来を応援する気持ちを静かに述べました。その後、卒業生代表答辞では、野城琢人さん(元生徒会長)が3年間の思い出と共に自分たちを支えて見守っていただいた方々への感謝の気持ちを述べました。在校生たちを導いてくれた先輩が旅立って寂しくなりますが、吉賀高校での思い出を力にしてそれぞれの道で夢に向かって素晴らしいスタートを切り、各々の個性を活かして活躍することを願っています。

ご来賓の皆様には、式への出席を見合わせる運びとなりましたことをお詫び申し上げます。また、多くの方々のご支援やご協力をいただきまして、無事に卒業生を送り出すことが出来ましたことに感謝申し上げます。

<卒業証書授与>



< 在校生代表送辞>



<卒業生代表答辞>





く退 場〉



<ホームルームにて>





4 3

With best wishes!







第3回 防災訓練

2月26日(金)に地震が発生したという想定で防災訓練を実施しました。生徒た ちは机の下に入り自分の身を守ると共に、放送に従って迅速に体育館へ避難すること が出来ました。当日は、益田広域消防署の方3名にお越しいただき、講評をいただく と共に消火について指導をいただきました。雨天のため、消火器の使い方を外で体験 することは出来ませんでしたが、生徒会長が代表してみんなの前で消火器の使い方を 学びました。その後、生徒たちは教室に戻って、防災に関する映像を見ました。また、 防災士の資格を持つ藤田晶斗くん(2年)が防災に関するメッセージを発信しました。



「もしもの備えは普段から」。普段の生活から防災に関心を持つことの大切さを私たちに伝えてくれました。今後 も、継続して防災について考えていきたいと思います。









アントレプレナーシップ教育成果発表会

2月12日(金)に六日市体育館を会場にして、5名の先生方(青山学院大 学・大正大学・法政大学・奈良教育大学)を講師にお迎えし、アントレプレナー シップ教育成果発表会を開催しました。会場には町内の中学生や地域の方々を 含め、多くの参加者の来場をいただくことが出来ました。

13:00に開会し、1年生9チーム、2年生16チームの計25チームが この1年間の成果を発表しました。まず5グループに分かれて、それぞれのチ ームがプレゼンを行いました。その後、各グループより代表1チームが選出さ



れ、ステージで全体に向けてプレゼンを行いました。ステージ発表の後には、樋田先生(青山学院大学)と浦崎先生 (大正大学) から講評をいただきました。それぞれのチームは、多くの方々のご支援とご協力をいただきながら、 プロジェクトに取り組み、大きな成果を得ることが出来ました。また、多くの方の前でプレゼンを行い、様々なご意 見をいただくことで、次のステップに向けての貴重な経験を積むことが出来た発表会になりました。

参加いただいた皆様、ご協力いただきました方々には感謝しております。本当に、有り難うございました。

くステージ発表を行ったチーム>

「高校生にできる防災について考える」

• 「吉賀町の文化を紙芝居で伝えよう」

• 「音楽で地域の人を元気に」

• 「病院LED化」

(2年:桑名 颯司、藤田 晶斗) (2年:河村 日南、師井 そら) (2年:岡本 陸都、堀田 峻佑)

(2年:深川 心優)

「若い世代に吉賀町を知ってもらおう」 (1年:泉 友梨香、潮 歩果、古泓 龍希、三宅 真)









